

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

はつねほいくえん

当ほいくえんは旧北九州市立初音保育所が民間委託され、平成25年4月1日から社会福祉法人いわき福祉会はつねほいくえんとして、スタートしました。民間委託を受けて旧保育所職員と連携をとりながら、保護者の思いに寄り添い保育を行っています。現在の新園舎は平成26年4月1日から使用開始し、保育にも落ち着きが出始め新しい園舎での生活にも慣れ始めたばかりですが、今年度少し早いとは思いましたが第三者評価事業に参加しました。

1年目から第三者評価の項目を一人一人の職員がまず自己評価し、項目ごとの解釈を話し合うことを始めていました。一応の評価項目は知ってはいたものの、深くは理解が出来ていなかったもので、解釈の理解にはとても時間がかかりました。項目毎に話し合いを重ね、個人やクラスごとでの保育の見直しを行いました。理解の程度には経験の違いも大きく、職員間では理解に差がありましたが、読み込む程に保育の見直しを行うことができてきました。保育環境が整わず、全てがはじめからのことが多い中、職員はとても苦勞しながら時間を作って学んでいました。なかなかすべてを行うことは難しかったようですが、早い段階で足りない事や不足していた事への気づきが職員全体で共通理解ができ、日々の保育の見直しことができました。取り組みとして間違っていないということもあり、自信にもつながり良い学びの機会となりました。

(今後の課題)

今後さらに保護者とのコミュニケーションを深め信頼関係を大切に、温かい家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの育ちや保護者への支援を充実させていきたいと考えています。また、子ども一人一人をしっかり受け止め寄り添いながら、さらに子どもが楽しめるように創意工夫していきたいと思います。ご指導いただいた所は早急に見直し、地域の保育園として愛されるように、今より以上に良い点は伸ばして行き「地域に根ざした保育園」となるように精進したいと思います。

第三者評価事業に参加させて頂き本当にありがとうございました。